

氷社協第181号  
令和8年3月31日

氷見市長 菊地 正寛 様

富山県氷見市鞍川 975 番地  
社会福祉法人氷見市社会福祉協議会  
会 長 高 木 義 則



令和7年度氷見市いきいき元気館等の管理運営に関する  
業務に係る事業報告書の提出について

令和7年3月27日付で締結した氷見市いきいき元気館等の管理運営に関する年度協定書について、基本協定書第11条の規定により、その実績を次の関係書類を添えて報告します。

関係書類

1. 令和7年度氷見市いきいき元気館及び総合体育館指定管理者事業報告書
2. 令和7年度氷見市いきいき元気館月別利用者数一覧表
3. 児童館管理実施概要
4. 氷見市児童館指定管理事業実績報告書
5. 氷見市児童館運営業務実施報告書
6. 令和7年度氷見市いきいき元気館管理運営委託事業決算書
7. 令和7年度氷見市児童館管理運営委託事業決算書



令和7年度氷見市いきいき元気館及び氷見市総合体育館指定管理事業実績報告書

管理運営方針	市民の健康づくりを支援するとともに、乳幼児から高齢者までの世代間交流を促進するために、安全かつ安心して利用できるようきめ細かく対応した。
業務の安全面に関する方策	定期的な見回りや必要に応じての見回りを実施するとともに、緊急時（事故・災害等）対応マニュアルの作成と年2回の避難訓練、応急救護の講習受講などを実施し、市民が安心して利用できる施設になるよう体制を整えた。
年間の事業実施状況	①トレーニングルーム管理業務（通年） ②いきいき元気館維持管理業務（通年）
サービス向上のための方策	月1回のスタッフミーティングを実施し、来館者への対応方法などをスタッフ間で協議し、利用しやすい施設づくりに努めた。
利用者等の要望の把握及び実現策	定期的な見回りの際に、会館の利用者へ利用状況について伺い、コミュニケーションを図りながら要望の把握に努めた。また、開かれた窓口を心がけ、来館者が気軽に声をかけられる体制を作ることで、要望の把握に努めた。 要望の実現については、月1回のスタッフミーティングで話し合い、必要に応じて市担当課と協議し、実現できる限り対応した。
トラブルの未然防止と対処方法	頻繁な見回りや声かけを実施し、トラブルの未然防止に努めた。特に、貴重品の紛失については、荷物だけを発見した段階で、周りにいる来館者へ確認をし、自主管理を促す。事故や怪我に関する対応マニュアルを作成し、状況に応じて救急車や病院への搬送、保護者（家族）への連絡等を迅速に行う体制作りに努めた。
住民との協働及び他施設との連携について	氷見市芸術文化団体協議会や氷見市スポーツ協会など、市内の貸館施設（市芸術文化館、海洋センター等）やスポーツ関連施設との連絡を密にとり、行事開催やスポーツ教室に関する情報の収集に努めた。また、パンフレットラックを設置し、他機関での行事開催や募集案内等のお知らせをした。
個人情報保護のための方策	氷見市社会福祉協議会個人情報保護規定にのっとり、規定に準じた行動をとるよう努めた。
緊急時の対応について（防犯、防災等）	緊急時対応マニュアルを作成し、氷見市いきいき元気館（年2回）全体避難訓練の際、マニュアルの確認をした。
自主事業の内容（財源内訳を含む）	なし
利用者の意見の	利用者の意見・要望を把握するため、利用者が意見・要望をしやすい

徴収	よう、意見箱を設置し、その把握に努めた。
その他特記事項	<p>令和7年度は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響により、災害ボランティア・支えあいセンターの運営に伴い、アリーナを閉鎖した。(児童館学童保育利用者や新町保育園には、開放)</p> <p>また、震災の影響と合わせて、ネット遊具を支える柱の耐震強度不足により、補強工事等が未着手(震災の復旧・復興が優先されたため)のため、ネット遊具も一般開放しなかった。</p>

令和7年度氷見市いきいき元気館月別利用者数一覧表

月	多目的広場		ワークルーム		交流サロン	児童館	いきいきサロン	来館者総数
	人数	件数	人数	人数				
4月	65	36	214	74	1,249	119	1,721	
5月	119	39	214	38	1,293	122	1,786	
6月	157	35	265	38	1,267	121	1,848	
7月	245	36	213	43	1,338	138	1,977	
8月	243	27	130	29	1,172	132	1,706	
9月	880	30	174	27	1,163	72	2,316	
10月	368	31	169	79	1,398	98	2,112	
11月	167	36	211	59	1,143	95	1,675	
12月	119	29	173	50	1,165	81	1,588	
1月	41	30	191	28	999	61	1,320	
2月	1	42	261	49	1,034	69	1,414	
3月	87	48	300	58	1,191	103	1,739	
累計	2,492	419	2,515	572	14,412	1,211	21,202	
前年同 月累計	1,610	477	2,865	408	12,552	986	18,421	
累計差	882	-58	-350	164	1,860	225	2,781	

## 令和7年度氷見市いきいき元気館管理業務収支決算書

### 【収入の部】

(単位:円)

科 目	R7予算	R7決算	差引	附記
氷見市いきいき元気館 管理運営委託費	29,787,000	29,787,000	0	
指定管理者支援金	0	0		
雑収入	537,000	237,607	-299,393	自動販売機販売取扱料
合 計	30,324,000	30,024,607	-299,393	

### 【支出の部】

項 目	R7予算	R7決算	差引	附記
人件費	10,703,000	10,703,000	0	職員給与 6,461,080 非常勤職員給与 4,241,920
需用費	8,506,000	8,522,177	16,177	
消耗品費	395,000	199,276	-195,724	トイレットペーパー、掃除用具、電球等
器具什器費	0	96,800	96,800	掃除機(@38,500×2台、@19,800×1台)
教養娯楽費	41,000	46,560	5,560	新聞代(富山新聞)
燃料費	40,000	49,129	9,129	灯油代
光熱水費	7,530,000	7,456,002	-73,998	上下水道料・電気料
修繕費	500,000	674,410	174,410	施設修繕費
役務費	535,000	308,378	-226,622	
通信運搬費	400,000	308,378	-91,622	電話代
その他役務費	135,000	0	-135,000	使用料へ
使用料及び賃借料	160,000	183,600	23,600	ケーブルネット、自販機設置に伴う費用、ダスキン取り替え
委託費	8,876,000	9,111,876	235,876	清掃、定期点検等
福利厚生費	44,000	0	-44,000	管理職員予防接種
租税公課費	1,125,000	1,073,500	-51,500	人件費分消費税、収入印紙代
研修費	0	0	0	衛生推進者養成講習受講料
管理費	375,000	122,076	-252,924	
合 計	30,324,000	30,024,607	-299,393	
収支差額	0	0		

本書は決算書の原本と相違ありません。  
令和8年3月31日

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会  
会 長 高 木 義 則



## 児童館管理運営実施概要

1. 開設時間  
児童館 8：30～18：00  
放課後児童健全育成事業  
平日（学校がある日） 12：00～20：00  
休日（学校の休日） 8：00～20：00
2. 休館日  
12月29日～翌年1月3日（6日間）
3. 職員  
児童館館長 1名  
事業管理者（チーフ） 1名  
児童厚生員等 15名  
\*児童館、放課後児童健全育成事業の業務内容を考慮し、職員を配置した。
4. 種別  
小型児童館（児童館の設置運営要綱）
5. 機能  
小地域を対象として、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情緒を豊かにするとともに、地域の各種団体と連携を図り等、児童の健全育成に関する総合的な機能をもつものとする。
6. 設置主体  
氷見市
7. 運営主体  
社会福祉法人氷見市社会福祉協議会  
(事業の区分：受託事業)
8. 運営  
①児童館の運営  
②児童館の維持管理及び軽微な修繕  
③警備に関する業務  
④氷見市児童館運営委員会に関する業務  
⑤防災・避難訓練に関する業務  
⑥放課後児童クラブに関する業務  
⑦その他管理業務の実施事項  
\*サービス向上のための方策  
\*他機関との連携

氷見市児童館指定管理事業実績報告書

管理運営方針	次代を担う子どもたちが、心豊かにたくましく育つよう、魅力ある遊び場として、また、地域の児童健全育成活動の拠点となるよう、「子どもの健全育成」「地域ぐるみでの児童健全育成活動の推進」「子育てと仕事の両立支援」を目標として児童館活動を推進した。
業務の安全面に関する方策	館内の定期的な見回りを実施し、児童への安全指導をするとともに、チェックリストを作成し、安全点検を行った。 緊急事態対応マニュアルを作成し、事故等起こった場合は、速やかに対応するとともに、報告、対応策の検討・実施をすることで、安全に利用できる施設になるよう努めた。
年間の事業実施実績	別紙のとおり
自主事業の内容 (財源内訳を含む)	別紙のとおり
サービス向上のための方策	季節ごとの明るい装飾を行い、多様なニーズに応えるため、各種ゲーム（オセロ、将棋、トランプ等）、玩具（キッチン、テーブルサッカー、ラキュー等）を常設した。 また、年間を通じて様々なイベントを企画・実施した。
利用者等の要望の把握及び実現策	要望の実現については、月1回のスタッフミーティングで話し合い、必要に応じて市福祉課担当者と協議し、実現できる限り対応した。
トラブルの未然防止と対処方法	頻繁な見回りや声かけを実施し、トラブルの未然防止に努める。特に、貴重品の紛失等に関しては、貴重品ボックスを設置し、貴重品を預かるとともに、自己管理を徹底するよう促した。 事故や怪我に関する対応マニュアルを作成し、状況に応じて救急車や病院への搬送、保護者（家族）への連絡等を迅速に行う体制作りに努めた。
住民との協働及び他施設との連携について	近隣住民はもちろんのこと、日常的なボランティア活動者を募集し、児童館利用者との関わりを深めて、魅力ある児童館作りに努めた。 校区主任児童委員や児童クラブ連盟、各種ボランティア団体、市内児童育成クラブ等との連携を密にし、諸行事を運営した。
個人情報保護のための方策	氷見市社会福祉協議会個人情報保護規定に則り、規定に準じた行動をとるよう努めた。
緊急時の対応について（防犯、	緊急時対応マニュアルを作成し、氷見市いきいき元気館（年2回）全体避難訓練の際、マニュアルの確認をした。

防災等)	月1回緊急対策訓練を実施し、児童の危険予防に関する意識の向上を図った。
その他特記事項	特記事項なし

## 令和7年度 氷見市児童館業務収支決算書

### 【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較	附記
委託費	6,206,000	6,206,000	0	
合 計	6,206,000	6,206,000	0	

### 【支出の部】

項 目	予算額	決算額	比較	附記
人件費	5,552,000	5,633,978	81,978	諸手当・法定福利含む
事業費	336,000	266,801	-69,199	
報償費	89,000	86,300	-2,700	運営委員弁償、講師謝礼
消耗品費	100,000	84,232	-15,768	文具等
器具什器費	50,000	0	-50,000	
業務委託費	0	41,800	41,800	不燃物破棄当
車輛費	9,000	11,750	2,750	
食糧費	10,000	16,319	6,319	行事食糧費
教養娯楽費	78,000	26,400	-51,600	教育新聞年間購読等
事務費	308,000	295,221	-12,779	
福利厚生費	38,000	26,133	-11,867	
印刷製本費	51,000	48,828	-2,172	コピー代
広報費	210,000	210,000	0	広報
手数料	0	1,100	1,100	振込手数料
保険料	4,000	4,160	160	
諸会費	5,000	5,000	0	児童健全育成推進財団会費
負担金	10,000	10,000	0	児童館連絡協議会負担金
合 計	6,206,000	6,206,000	0	

本書は決算書の原本と相違ありません。  
令和8年3月31日

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会  
会 長 高 木 義 則

